

関係各位

大阪府環境農林水産部農政室長

病害虫発生予察情報について
(予報第5号(9月))

標記について、次のとおり発表します。

《9月の病害虫発生予報》

＜作物＞

程度 品目	少ない	やや少ない	平年並	やや多い	多い
水稲			いもち病		
			紋枯病		
			セジロウカ		
			トビイロウカ		
			斑点米カメムシ類		
ジャンボタニシ(発生に注意)					

＜果樹類＞

程度 品目	少ない	やや少ない	平年並	やや多い	多い	
ぶどう			べと病			
			褐斑病			
			晩腐病			
みかん			黒点病	ミカンハダニ		
			カイガラムシ類			
			クビアカツヤカミキリ(発生に注意)			
バラ科 果樹 果樹類 全般				果樹カメムシ類		

＜野菜類＞

程度 品目	少ない	やや少ない	平年並	やや多い	多い
なす				褐紋病	
			アザミウマ類		
きゅうり		ウリノメイガ			
		ミナミキイロ			
		アザミウマ			
あじさい科野菜 (キャベツ・ しろな等)			コナガ		
			ハイマダラノ メイガ		
			根こぶ病		

<花き類>

品目	程度	少ない	やや少ない	平年並	やや多い	多い
きく						黒斑病・褐斑病
				白さび病		
			アザミウマ類			

<その他>

品目	程度	少ない	やや少ない	平年並	やや多い	多い
花き類全般 野菜類				ハスモンヨトウ		
				シロイチモジヨトウ		
			オオタバコガ			

《今月のトピックス》

■今後の発生に注意が必要な病害虫

- 【水稲】 トビイロウンカ
- 【みかん】 ミカンハダニ
- 【バラ科果樹】 クビアカツヤカミキリ
- 【果樹類全般】 果樹カメムシ類
- 【あぶらな科野菜】 コナガ
- 【きく】 黒斑病・褐斑病
- 【野菜類・花き類】 ハスモンヨトウ

《(参考)9月の気象予報》(大阪管区气象台8月27日発表)

気温	低い (10%)	平年並 (10%)	高い (80%)
降水量	少ない (20%)	平年並 (40%)	多い (40%)
日照時間	少ない (40%)	平年並 (30%)	多い (30%)

(詳細は、一覧表参照)

A 作物

1 水稲

病害虫名	発生量	予報の根拠・注意すべき事項
いもち病 (穂いもち)	並～やや多い	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査では、中山間部の一部ほ場で平年より発生が多かった。 ・9月の降水量は平年並～やや多いと予想されている。 <p>[メモ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉いもちの病斑から降雨等の水を介して穂に感染する。 ・万一、葉いもちが多発した場合は収穫前日数に注意して早めに薬剤防除をする。
紋枯病	やや多い	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査では、発生は平年よりやや多かった。 <p>[防除上考慮すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温多湿であれば発病が多くなる。

セジロウンカ	並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査では、発生は平年並であった。 <p>[防除上考慮すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急激に増加する恐れがあるので、発生初期の防除を徹底する。
トビイロウンカ	やや多い	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査では、中山間部の一部ほ場で平年より発生が多かった。 ・6月～7月の予察灯への飛来虫数は平年よりやや多かった。 ・JPP ネットのウンカ飛来予測システムにおいて、6月から7月にかけて断続的にトビイロウンカが大阪府に飛来したと推定されている。 ・9月は気温が平年より高く、降水量は平年並～やや多いと予想されている。 <p>[防除上考慮すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気温が高く降水量が少ないと坪枯れ等急激に被害を出す恐れがあるので、株元にいる成虫・幼虫を観察し十分注意する。発生を認めたら収穫前日数に注意して早めに薬剤防除をする。
斑点米カメムシ類	並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月の予察灯への飛来虫数は平年並であった。 <p>[防除上考慮すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂2週間前までに、ほ場周辺のけい畔の除草を行う。
ジャンボタニシ (スクミリンゴガイ)	発生に注意	<p>[防除上考慮すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、生息地域が拡大している。 ・田植え後約20日経過後は、新たな食害被害は出にくいですが、貝の密度を低くするために、ピンク色の卵塊を発見した場合は水中に掻き落とす。

B 果樹

1 ぶどう

病害虫名	発生量	予報の根拠・注意すべき事項
べと病	並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査では、発生は平年並であった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発病した葉、果房等は除去し、園外に持ち出すなどして処分する。 ・発生園地では、収穫後にも IC ボルドーなどで防除を行う。 <p>[メモ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・露地栽培で発生が多い。
褐斑病	並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査では、発生は平年並であった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫終了後も、発病を認めたら、被害葉を速やかに取り除くとともに、初期防除を徹底する。 <p>[メモ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・露地デラウェアで発生が多い。
晩腐病	並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査では、発生は平年並であった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生園地では、収穫後にも IC ボルドーなどで防除を行う。 <p>[メモ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・露地デラウェアで発生が多い。

2 みかん

病害虫名	発生量	予報の根拠・注意すべき事項
黒点病	並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査では、発生は平年と同様に確認されなかった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジマンダイセン水和剤、ペンコゼブ水和剤を使用する場合は、皮膚のかぶれに注意する。また、両剤とも、かんきつ(みかんを除く)では収穫 90 日前までなので注意する。
ミカンハダニ	やや多い	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府内の複数地域で、発生が平年よりやや多いとの報告があった。 ・9月の気温は、平年より高いと予想されている。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・殺ダニ剤に対する抵抗性の発達が懸念されるため、同一系統薬剤の連用を避ける。
カイガラムシ類	並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査では、発生は平年と同様に確認されなかった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬期のマシン油乳剤の散布が効果的である。

3 バラ科果樹

病害虫名	発生量	予報の根拠・防除上注意すべき事項
クビアカツヤカミキリ	発生に注意	<p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼虫は、幹や枝から中華麺～うどん状のフラス（木くず等の混合物）を出す。 ・フラスが見られた樹は、ネットを巻き付けるなど成虫の拡散を防ぐ対策をとる。ネットは高さ2 m程度まで2重にしっかりと巻く。 ・フラスを見つけたら、千枚通しや針金等を穴に入れ、中のフラスをかき出して幼虫を突き刺して殺虫する。

4 果樹全般

病害虫名	発生量	予報の根拠・防除上注意すべき事項
果樹カメムシ類	やや多い	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェロモントラップによる誘殺虫数は、地点によっては平年より多かった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園地により飛来量は大きく異なる可能性があるため、園内を見回って発生及び被害状況を確認し、発生が見られる場合は速やかに薬剤防除を実施する。

C 野菜類

1 なす

病害虫名	発生量	予報の根拠・防除上注意すべき事項
褐紋病	やや多い	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査では、平年より発生はやや多かった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に露地栽培で発生し、降雨により発生が増加する。 ・摘葉し、ほ場内の風通しを良くする。 ・発病を確認したら、小黑点(柄子殻)が生じる前に発病部位を取り除き、ほ場外へ持ち出し処分する。 ・種子伝染するため、感染した株からの採種は行わない。
アザミウマ類	並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査では、発生は平年よりやや少なかった。 ・一部地域で発生がやや多いとの報告があった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期防除を徹底する。 ・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。 ・露地栽培では、天敵昆虫の温存を図るため、ソルゴー囲い込み栽培などを行う。 ・被害葉や残さは、ほ場外に持ち出し、処分する。 ・ほ場周辺の除草に努める。 ・ミナミキイロアザミウマは、感受性が低下している薬剤が多く、発生が増えると防除が困難。 ・ハウス栽培では、開口部を被覆して成虫の侵入を防止する。 ・ハウス栽培で開口部の被覆に使用する場合、0.8mm 目合の赤色ネットは 0.4mm 目合の白色ネットと同等の効果がある。

2 きゅうり

病害虫名	発生量	予報の根拠・防除上注意すべき事項
ウリノメイガ	やや少ない	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査では、発生は平年よりやや少なかった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウスの開口部をネット等(2mm 目合)で被覆し、成虫の侵入を防止する。 ・食害株の幼虫を捕殺する。 <p>[メモ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウス抑制栽培の定植直後に発生が認められることが多い。
ミナミキイロアザミウマ	やや少ない	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査では、発生は平年よりやや少なかった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生初期の防除に努める。 ・被害葉や残さは、ほ場より持ち出して処分する。 ・ほ場周辺の除草に努める。 ・感受性が低下している薬剤が多く、発生が増えると防除が困難。 ・ハウス栽培で開口部を 0.8mm 目合の赤色ネットで被覆し成虫の侵入を防止する。 ・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

3 あぶらな科野菜（キャベツ・しろな等）

病害虫名	発生量	予報の根拠・防除上注意すべき事項
コナガ	並～ やや多い	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> フェロモントラップによる誘殺虫数は平年より多かった。 予察灯への飛来虫数は平年並であった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年、薬剤抵抗性の系統が増加している。 発生初期に防除を行う。 同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。 特にジアミド系薬剤の連用は避ける。
ハイマダラノメイガ (ダイコンシンクイ)	並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> 予察灯への飛来虫数は、平年並であった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> セル成型苗では発生すると欠株を生じるので、育苗中にかん注剤の施用を行い、発生初期に防除を徹底する。
根こぶ病	並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年の9月の巡回調査では、平年と同様に発生は見られなかった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> あぶらな科野菜の連作を避ける。 早植えを避ける。 土壌pHが低い（酸性）と発生しやすいので、石灰質資材等を施用しpH6.5～7に調整する。 前年発生した畑では、キャベツ、はくさい、ブロッコリー、カリフラワーでは定植前に、ネビリュウやオラクル粉剤を土壌混和する。 土壌水分が多いと発生しやすいので、多湿ほ場は避ける。

D 花き きく

病害虫名	発生量	予報の根拠・防除上注意すべき事項
黒斑病・褐斑病	多い	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> 巡回調査では、発生は平年より多かった。 9月の気温は高く、降水量は平年並～やや多いと予報されている。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> 発病の多いほ場では、密植を避け風通しを良くする。 発病を認めたら、被害葉を速やかに取り除き、ほ場外に持ち出し処分する。
白さび病	並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> 巡回調査では、発生は平年よりやや少ない～並であった。 9月の気温は高く、降水量は平年並～やや多いと予報されている。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> 発病の多いほ場では、密植を避け風通しを良くする。 発病を認めたら、被害葉を速やかに取り除き、ほ場外に持ち出し処分する。

アザミウマ類	やや少ない	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査では、発生は平年より少ない～やや少ないであった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・膜割れ(蕾から着色した花卉が見える前)前後の防除を徹底する。 <p>[メモ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花卉に被害を及ぼすミカンキイロアザミウマ等の他に、葉にハダニ類に似た被害を及ぼすクロゲハナアザミウマ等があるため、被害状況に応じ防除を行う。
--------	-------	---

E 野菜類・花き類全般

病害虫名	発生量	予報の根拠・防除上注意すべき事項
ハスモンヨトウ	並～ やや多い	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回調査では、発生は平年並であった。 ・フェロモントラップによる誘殺虫数は、平年並～やや多いであった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生初期(若齢幼虫の集団)に防除を徹底する。 ・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。
シロイチモジヨトウ	やや少ない ～並	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェロモントラップによる誘殺虫数は、平年よりやや少ない～並であった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生初期(若齢幼虫の集団)に防除を徹底する。 ・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。
オオタバコガ	やや少ない	<p>[予報の根拠]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェロモントラップによる誘殺虫数は平年よりやや少なかった。 <p>[注意すべき事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生初期(若齢幼虫期・食入前)に防除を徹底する。 ・同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

●大阪府環境農林水産部農政室推進課病害虫防除グループ・ホームページ

(平成23年4月1日より大阪府病害虫防除所から組織名変更)

<http://www.jppn.ne.jp/osaka/> 最新の防除指針を掲載しています。

●病害虫発生情報メールサービス

申込先：大阪府環境農林水産部農政室推進課病害虫防除グループ
メールサービス担当

TEL：072-957-0520

<http://www.jppn.ne.jp/osaka/mailservice/mail servicemousi komi.html>

※年間約15件の病害虫情報を電子メールで送付します。(情報料無料、受信に要する通信費は自己負担です)

●おおさかアグリメール

申込先：大阪府立環境農林水産総合研究所
企画部 企画グループ おおさかアグリメール受付担当

TEL：072-979-7070

<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/nourin/agrimail/>

※最新の農業情報をあなたの携帯電話にお届けします。(受信に要する通信費は自己負担です)

●Web版大阪府園芸植物病害虫図鑑

「ひと目でわかる花と野菜の病害虫」（大阪府植物防疫協会）

<http://osaka-ppa.jp/zukan/index.php>

●「大阪府暑さ対策情報ポータルサイト」

<http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/jigyotoppage/atsusataisaku.html>

「暑さ指数情報発信サービス登録サイト」（環境省熱中症予防情報サイト内）

http://www.wbgt.env.go.jp/mail_service.php

※大阪府では、府民のみなさまに夏の暑さに備えていただくため、「大阪府暑さ対策情報ポータルサイト」を開設しています。「暑さ対策」の情報サービスのお知らせや暑さをしのぐ工夫や情報もご紹介します。熱中症対策に是非ご活用ください。